エントリー団体 No.8

茨城県立並木中等教育学校

SDGsα

キャップ回収デーの様子

昨年度集まったカイロ

古紙を業者に買い取っていただく様子

活動期間 2021年11月～（常に活動しています）

構成人数 中校生22名・高校生9名

SDGsテーマ

推薦メッセージ

SDGsαは本校の SSH の活動の一つである生徒発信プロジェクトの一環として精力的に活動しています。SDGsαの最大な特徴としては中一～高二と幅広くメンバーが在籍している点、生徒が主体となって活動を進めており、外部や学校の事務室との連絡、相談も生徒が自ら行っている点です。
教員がやってしまった方がスムーズですがあくまでも生徒が主体で活動を行う有志団体なので生徒が自らやってくれています。教員としても心強いばかりです。まだまだ新しい団体で発展途上のところも多くありますが生徒の出してくれた文章、写真、スライドを精査し、評価していただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

茨城県立並木中等教育学校　企画研究部長　吉村 大介

活動内容

ペットボトルキャップ回収、古紙回収、カイロ回収の三つを現在主に行っており、7月ごろにはウクライナ募金を行なっていました。

ペットボトルキャップ回収

各教室や生徒の共有スペースなど校内の29か所にキャップ回収のボックスを設置してペットボトルを捨てるときにキャップを分別してもらえるようにしました。

ポスターを貼り全校生徒に周知させ、最初は学校に関するアンケートでキャップを一票として投票できる仕組みを作ることで回収量を増やしました。そして昨年10月末からは家庭でもキャップ回収に協力してもらい「キャップ回収デー」として朝の始業前に昇降口でキャップ回収をしました。

沢山の生徒先生方が持ってきてくださり、1日で約8000個のキャップを回収することが出来ました。今までで約67,000個、ワクチン約67人分を回収しています。

古紙回収

並木中等ではゴミの分別が活発でなく、掲示期間のすぎた掲示物なども可燃ごみとして捨てられていました。そこでつくば市様に古紙の回収袋をいただき、それを各教室など校内25箇所に設置することにしました。

全て合わせて、2023年1月時点で約4400kg余りをリサイクルすることができました。回収ではなく買取をしていただき、買取をしていただいたことで得た収益は森林保全団体等に寄付をします。

カイロ回収

カイロの中に含まれている二価鉄イオンを有効活用すると水質を改善できます。学校の2か所に回収場所を設け、昨年度は1月から3月上旬に約1400個集めました。

今年度は茨城県立竹園高校と協力して行っています。今年度は並木中等だけで3000個、竹園高校と合同で4000個を目標に回収を進めていきます。

ウクライナ募金

ロシアウクライナ戦争によってウクライナで民間人が被害に遭っている一方、日本での報道は減っていたため、少しでも多くの人に考えてもらい、ウクライナの方々の力になりたいという想いから校外で国際関連の活動をしている学校内の有志団体と一緒に募金活動をしました。

募金先は人的支援にと考えたのでUNHCRにしました。

BLANDつくば並木店様に協力していただき、敷地内で募金活動を行わせて頂きました。放課後に2時間程度を2回行い中高生が募金活動をしているからということもあり多くの方々に協力していただき、28000円もの額を募金することが出来ました。

01. 活動をはじめたきっかけ

各個人での小さな社会貢献活動から、みんなの力で踏み出す大きな一歩へ。

もともと各個人が社会貢献活動に対する興味があり、個人個人で活動をしている人もいました。しかし、自分一人だけだと活動を始めるのに抵抗があったり、いざ始めてみても学校全体を巻き込む活動は難しかったり、大きな活動はすることが出来なかったりしました。

このような状況の人たちで一緒に活動が出来たら活動範囲がお互いに広がり、大きな活動が出来るようになり楽しいのではないかと思いSDGsαを立ち上げ、活動を始めました。また、今それぞれが行っている活動をその人が卒業しても校内やそれより広い範囲で続けていきたい(いってほしい)と思い、SDGsαをたちあげました。

この団体を立ち上げることで自分たちが始めた活動を後輩たちに引き継いでもらうことが出来ます。一人じゃ踏み出せない一歩をみんなの力で踏み出せるようにすること、社会貢献活動を次の世代につなげること、それがSDGsαの活動を始めたきっかけです。

02. 活動から学んだこと・感じたこと

みんなが少しの工夫をすることで
地球を変える行動につなげられる。

まずは自分達中高生が社会に向けてこのような活動をすることに意義があると感じました。実際に並木中等SDGsαとしてさまざまな活動をしていくことでお褒めの言葉をいただくことや協力していただけることも多くありました。

また、私たちは「日常に+αの工夫で地球を変える行動を」をモットーに活動しています。なにかお金がかかったり時間をかけたりしない r とできないことではなくゴミを捨てるときにちょっと意識をするだけでできるなど簡単にできる活動を意識しています。

みんなが少しの工夫をすることで地球を変える行動につなげることができるし、それをみんなでやればもっと大きな変化がも照らすことができるのではないかと思いました。

それに近づけるための活動を展開していきたいです。

03. 継続するためのこれからの工夫

活動をブランド化し継続させ、
活動の意義や目的を広めていく。

これからもこのような活動を廃れさせないようにするために、現在している活動の意義や目的、必要性を校内で伝えていきます。

また、現在行なっている活動をさらにパワーアップさせ「NAMIKI PRIDE PROJECT」とブランド化します。
シリーズとしてキャップ回収を「NAMIKI PRIDE CAP」、古紙回収を「NAMIKI PRIDE PAPER」カイロ回収を「NAMIKI PRIDE KAIRO」とします。
例えば、ただ紙をリサイクルするのではなく、「NAMIKI PRIDE PAPER」とすることで裏紙を使用する人に誇りを持って使用していただきたいと考えています。

この「NAMIKI PRIDE PROJECT」を学校の SSH 成果報告会で発表し、実行します。

また、現在は物を回収し再活用させるということを中心に行なっていて、今後さらにいろんなバリュエーションの活動をしていきたいです。

活動の略歴

2021 年 11 月	活動開始
2021 年 12 月	キャップ回収開始
2022 年 1 月	古紙回収開始
2022 年 1 月	カイロ回収開始（冬のみ）
2022 年 4 月	古紙回収リニューアル （回収ではなく買取をしていただくようになった）
2022 年 7 月	ウクライナ支援募金実施
2022 年 10 月	キャップ回収パワーアップ（「キャップ回収デー」の実施）
2022 年 12 月	カイロ回収再開
2023 年 2 月	並木中等 SSH 成果報告会にて活動報告をする予定